

2022-23 Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club**

イマジン  
ロータリー

クラブテーマ

同志と共に

会長：寺本 匡 幹事：赤堀哲也 会報委員長：辻 諒淳  
事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館内  
田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181  
例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館 TEL0739-22-0155  
創立年月日：1992年1月21日 例会日：毎週火曜日 18:30～  
URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail：[t-hamayu@vm.aikis.or.jp](mailto:t-hamayu@vm.aikis.or.jp)

2022-23 年度 RI 会長  
ジェニファー・E. ジョーンズ  
第 2640 地区ガバナー  
森本 芳宣



(株)紀伊民報 取締役 長瀬様をお迎えて

## 会長挨拶

寺本 匡

季節は5月の下旬ですが、稀に最高気温が25℃以上の夏日が観測されています。最高気温が30℃を超える日を真夏日、35℃を越えた日を猛暑日といいます。ちなみに私が生まれた1977年5月の平均気温は18.6℃で2022年5月の平均気温は19.3℃と気温差が1℃にも満たしていませんでした。「子供のころはもっと涼しかった」というイメージだったのですが、そう思っているのは自分だけでしょうか？

### 本日のロータリーソング

手に手つないで



### Today's Meeting

2023年5月30日(火)

内卓

「新しい相続登記手続きについて」

菊池正紀君

### Next Week's Meeting

2023年6月6日(火)

移動例会

「元阪神タイガース鳥谷敬氏講演会」

和歌山城ホール

### 出席報告

(第1416回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
30名	1名	7名	75.86%

### ゲスト

(株)紀伊民報 取締役制作部長 編集委員 長瀬稚春様

### 幹事報告

#### メイクアップ

○山本佳弘 5/17 有田 2000RC

#### 例会変更

○和歌山北 RC 6/19(月) → 6/22(木) 18:30～

グレイブホテル和歌山 4F «最終夜間例会»

6/26(月) → 休会



○和歌山東南 RC 6/7(水) → 休会

6/28(水) → 6/29(木) 18:30～ホテルアパローム紀の国

«最終親睦夜間例会»

○有田 2000RC 6/7(水) → 6/3(土) 4(日)

一泊移動例会(伊勢方面)

○白浜 RC 6/2(金) → 休会

6/16(金) → 6/21(水) 19:00～«夜間例会»

○串本 RC 6/6(火)・20(火) → 休会

#### 配布

○週報 1416

○理事会議事録

○次年度組織図

#### 回覧

○高松南 RC 週報

#### お知らせ

○5月24日(水) 午前10時～

「市政功労者・善行者表彰式典」田辺市役所別館 3階大会議室

※寺本会長 出席よろしく願います。



## プログラム

### 「地方報道機関の昨日、今日、明日」

紀伊民報取締役制作部長  
編集委員 長瀬雅春様



#### ■新聞の発行部数が大幅減

このたびは、例会の講演で「地方報道機関の昨日、今日、明日」というお題をいただきました。ご存じのように新聞業界は、デジタル化の進展による若い人たちの「紙離れ」や読者の高齢化などにより大変厳しい環境に置かれています。

日本新聞協会がまとめた新聞（一般紙）の発行部数は18年前の2005年には4,719万部ありましたが、2022年には2,869万部へと、1,850万部も減っています。2020年から22年の2年間だけ見ても376万部のマイナスです。これは大きな新聞社2社が無くなったのと同じような減り方です。広告費も2005年の1兆377億円から、2022年には3,697億円と、ほぼ3分の1に落ち込んでいます。

インターネットの普及が始まった90年代後半、新聞社は自社のニュースを積極的に公開しました。閲覧数に応じて広告収入を得ることができる「広告モデルとして」事業を展開

しましたが、新聞紙面の広告に比べてネットの広告は単価が安く、なかなかビジネスになりませんでした。

#### ■情報の流通構造が変化

さらにインターネットの普及は、情報が流通する構造そのものに変化をもたらしました。新聞やテレビ、ラジオ、雑誌というマス媒体は、情報を1カ所に集めてから読者・視聴者に一斉に提供する「中央集権型」ですが、ネットでは誰もが発信者になる「分権型・分散型」で情報が流れます。この構造は企業・団体のホームページや個人のブログから始まり、FacebookやInstagram、TwitterというSNSの台頭、さらに動画投稿サイトの人気などにより一気に加速しました。

還暦を超えた私たちの世代は、結婚して新居を構えると電気、ガス、水道、電話の契約と新聞を取るのが当たり前でしたが、今は違います。その実態を表すものに、総務省が実施しているメディアの利用時間の調査があります。

#### ■新聞を読む時間 0.9分

2022年の調査では、平日に新聞を読む時間は全世代の平均では7.2分ですが、世代別に見ると20代はわずか0.9分、30代で1.5分となります。これは新聞を「チラ見」するということではなく、ほとんどの人が新聞を読んでいないことを示しています。

一方でネットの閲覧時間を見ると、20代は275分、30代で188分に達しています。多くの時間が動画の視聴やオンラインゲーム、SNSの読み書きに費やされています。

私たちの世代、60代は1日に22分新聞を読んでいます。今の20代、30代の人たちが年を重ねれば新聞を読むようになるかといえば、そうはならないでしょう。新聞社は早急に新しいビジネスモデルを構築する必要性に迫られています。特に、戦後間もなく生まれた「団塊の世代」の方たちが後期高齢者になる2025年は大きな節目となりそうです。



紀伊民報社屋



### ■ 紀伊民報の役割

そういった中で、紀伊民報は何ができるのでしょうか。私が入社した 1990 年、紀伊民報の発行部数は 2 万 9 千部、従業員は 45 人でした。その後、競合した紀州新報が田辺地域から撤退したこともあって、2000 年前後には 3 万 8 千部まで伸びました。近年は一転して厳しい状況が続き、30 年余り前とほぼ同じ部数に戻っています。

紀伊民報のように発行部数が 1 万～7、8 万部の新聞社は全国各地にあり、地元に着した日々のニュースや生活情報を読者に提供しています。かつてその役割は、購読対象地域への情報提供に限られてきましたが、今はネットを利用することで地域の情報を広く全国に発信できるようになりました。

紀伊民報は 1996 年にニュースサイト AGARA（アガラ）を開発。コロナ禍での月間閲覧数は最高 400 万ページビュー（2020 年 4 月）、コロナが落ち着いた現在は 60 万～80 万ページビューとなっています。これは県内の事業者では最大級の閲覧数です。さらに外部へのニュース配信としてヤフーニュースや 47 ニュース、LINE アカウントメディア、スマートニュース、マイクロソフトニュースなどに記事を提供しています。

ニュースサイト AGARA のアクセスは 85% が県外からです。この特長を生かして、紀南の観光情報や世界遺産・熊野、豊かな自然、地域の特産品などを広く知ってもらうのが紀伊民報の役割の一つと考えています。



天神崎【長瀬氏撮影】

### ■ デジタルに未来を託す

日本国内の新聞社で、日本経済新聞を例外とすれば、デジタル事業で「正解」を見つけた新聞社は全国紙、県紙、そして地方紙を含めてありません。さらに、新聞の配達現場では過疎化、高齢化で宅配網の維持が困難になってきています。その中で希望があるとすれば、例えば、教育関連で

の電子版利用です。愛媛県では、ほとんどの市町村教育委員会が有料電子版を採用し、小中学校の学習で使われています。

紀伊民報はデジタルに未来を託しながら、これからも地域の新聞社として皆様の役に立つニュースを提供していく所存です。



### ニコニコ箱

**寺本 匡** 本日、長瀬稚春様、卓話よろしくお楽しみします。楽しみです。

**赤堀哲也** 本日の卓話、紀伊民報 取締役 制作部長 長瀬様の卓話楽しみにしております。よろしくお願い申し上げます。

**辻 諒淳** 「涼しい」一日でした。猛暑日になったかと思えば、いきなり「3 月」に戻る。今度は台風が…。五月らしい天気、忘れてしまいそうです。長瀬稚春様、本日はありがとうございます。よろしくお願い致します。

**中家正幸** 最近火曜日に用事が入り、1 ヶ月ぶりの例会参加になりました。本日もよろしくお願いします。

**菅根 清** 先日、天王寺で迷子になりました。駅、建物の中にも関わらず改札口にたどり着かないのです。お店で道を聞いてしまいました。10 年ほどでも大分変わるものですね。

**光吉直也** 長瀬様、よろしくお願いします。

**菊池正紀** 長瀬様、卓話楽しみにしてます。

**大田忠博** //

**中峰千世子** //

**杉山竜二** //

菊池正紀君  
&  
伊森隆敏君

